

第3学年だより
今こそ 出発点 **2月**
 栃木市立栃木南中学校
 令和5年1月31日

今後の入試日程・・・必ずご確認ください。

2月 8日(水)・9日(木)・・・特色選抜
 (受験者には詳細な日程を後日配付)
 2月14日(火)・・・特色選抜 合格者内定
 2月22日(水)・・・一般選抜の倍率 新聞発表



* 出願変更の場合は、22日(水)に担任にまず電話で申し出てください。
 24日(金)午前8:20分 保護者がご来校ください。
 2月28日(火)・・・一般選抜の出願変更後の最終倍率 新聞発表予定

3月 8日(水)・・・一般選抜(学悠館フレックス含む)
 3月 9日(木)・・・面接(農業や工業、商業などの専門学科受験者)
 3月14日(火)・・・合格者発表 午前10時 受検票を持って各自確認
 3月15日(水)～4月14日(金)・・・簡易開示(入試得点交付)
 受検票を提示して個票を受け取る。

特色選抜の面接・作文練習 ラストスパート

2月8日(水)・9日(木)に行われる特色選抜に向けて、面接や作文・小論文の練習が佳境に入ってきました。間もなく受験番号も分かります。それぞれの担当の先生からも、「面接練習をするたび、アドリブでも答えられるようになってきました」とか「作文・小論文練習を通して、自分の考えや経験を分かりやすく伝えられるようになってきました」というような話を聞いています。試験当日は、練習の成果を十分に出し切ってほしいと願っています。なお、学校でも声をかけていますが、身だしなみとして頭髪やズボン・スカートの長さ、ボタンなどのチェックのご協力をよろしくお願いいたします。



一般選抜に向けて、まだまだ伸び代はあります

いよいよ、一般選抜(3月8日)まで約1か月となりました。第一志望校は決めたものの、生徒たちは焦りや不安でいっぱいの時期です。まずは、健康管理が大切です。引き続き、基本的な感染対策をよろしくお願いいたします。特に換気が重要です。学校では、朝の学習から授業中、休み時間までお子様たちは本当によく頑張っています。どうか保護者の皆様からも、引き続き温かい励ましの言葉をお願いいたします。まだまだ伸び代はあります。最後の最後までベストを尽くすことができるよう学校側も最大限のサポートをしていきます。



2月の行事



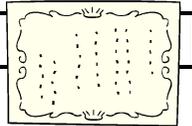
| | |
|-------------------|------------------------------|
| 8日(水)～9日(木) 特色選抜 | 22日(水) 3年生を送る会 |
| 14日(火) 特色選抜 合格者内定 | 28日(火)～3月1日(水) アルミ缶・エコキャップ回収 |

先生コーナー・・・「この頃 心に思うこと」

| | |
|--|---|
| <p>学年主任 **** 先生(卓球)</p> <p>「卒業まであと何日」という言葉が聞こえ始める時期ですが、私は「卒業まであと何日ある」と捉え、今できることを完全燃焼しようと考えています。多くの生徒が笑顔で友と語り元気に生活しているのを見ると、こんな頑張り屋の生徒たちの新たな「出発点」の瞬間に立ち会える期待と緊張感が日増しに高まってきました。「全員合格」と「感動の卒業式」の実現を目指し、決意を新たにしています。</p> | <p>特別支援担任 **** 先生(野球)</p> <p>それぞれ「卒業」を意識し始める時期ですね。残りの日数を数えてみると、想像以上の少なさに驚くかもしれません。やりの無いように過ごしてください。卒業式は中学校生活にとってはゴールかもしれませんが、同時にその後の長い人生のスタートでもあります。先生たちも毎年新たな年度を迎える際は、期待と緊張で胸がいっぱいになります。その時最善の一步を踏み出すために「今できることは何かあるか？」を共に考えていきましょう。</p> |
|--|---|

卒業式は3月13日(月)です。

3月13日(月)の卒業式まで1か月あまりとなりました。音楽や学活の時間に歌の練習が始まり、卒業式に向けて少しずつ動き出しました。栃木南中職員一同、「感動の卒業式」を目指して準備していきます。



送別会 3年生を送る会 2月22日(水)

*本年度は、全校生徒のみで本校体育館で行います。主な内容は、・・・
 第1部 3年生への感謝のメッセージと送る言葉
 第2部 3年生から①仲間②後輩③先生への感謝 最後に3年生合唱「道」(EXILE)



男子 パート練習



女子 アルト練習



女子 ソプラノ練習

卒業文集の言葉に涙・涙

卒業文集の原稿が出そろい、全員の文章を読ませていただきました。生徒たちにとって、この南中での3年間がいかに充実した日々であったかが十分に読み取れる文章となっています。その一部をご紹介します。「何気ない毎日が本当に大好きでした」とか、「部活は私にとって生きがいでした」、「この南中での先生方や友達との出会いに感謝の気持ちでいっぱいです」など、早くも感動をもらっています。もっとたくさん紹介したいところですが、お楽しみは後ほどということで、文集が配られましたらぜひご一読ください。

